

## 市制施行50周年記念事業

2020年7月1日は浦添市50歳の誕生日！節目を祝い、市全体の機運を高めるため、さまざまな記念事業を行っています。  
2020年と同じ50周年を迎える名護市とのコラボ企画も実施！

### 11/22 (金) 名護市との特産品交流 羽地から新米が届きました！



名護市羽地地域のお米「羽地米」の新米のおいしさを浦添市民にも味わってもらうため、JA沖縄水稲生産部会の協力のもと、浦添市役所1Fロビーで販売会が行われました。販売開始から長蛇の列ができ、午前中には売り切れるなど大盛況でした。

### 12/7 (土) 「歩婚」第1弾～ 名護やんばるツーデーマーチ



ウォーキングイベントのコラボ企画「歩婚（婚活ワーク）」を開催しました。両市の在住・在勤者特典を設け、全体39人の参加者の内、浦添市から11人、名護市から15人の参加がありました。グループに別れてウォーキング後、パーティーでさらに交流を深めました。

### 募集!! 市制施行50周年カウントダウン 写真まだまだ募集中!!



市ホームページでは50周年に向けたカウントダウンを実施しています。「私もカウントダウンに参加したい!」という個人・団体・企業を募集中です。手作りボードや人文字のカウントダウン写真も大歓迎!

詳しくは企画課まで問い合わせください。  
メールアドレス kikaku@city.urasoe.lg.jp



### 11/30 (土)・公民館に みんなアツまる、アツくなる。 12/1 (日) 第34回公民館まつり開催

日頃から中央公民館で活動するサークルや公民館講座受講者等の学習活動の成果発表、そして「ひとづくり」「仲間づくり」の場として、「公民館まつり」が開催されました。

お笑い芸人・わさびによる大爆笑のオープニングを皮切りに、舞台や展示発表、飲食ブース、サークル体験などが行われました。今年は、市が作成したシネマ組踊「二童敵討」の無料上映や子ども向けのシールラリーなど新しい試みもありました。

参加者からは「仲間に入りたいたいサークルを見つけた」「シネマ組踊がとても分かりやすく楽しめた」などの声が寄せられ、盛りだくさんの催しに来館者は大満足の様子でした。



### 12/8 (日) 2019年度YA文芸賞表彰式& ビブリオバトル

今年で第11回目の開催となる「2019うらそえYA文芸賞」が市立図書館で開催されました。今年は短編小説部門23作品・詩部門255作品の応募があり、厳正なる審査を経て煌賞を含む各賞に8作品が選ばれました。

短編小説部門で煌賞を受賞した中野蘭さんは「創作活動におけるさらなる自信につながりました。この経験を糧にし、さらに良い作品を作り続けたいです」と受賞を喜び、詩部門で煌賞を受賞した山田姫乃さんは「詩を読んだ人が、生命の美しさや儚さを、少しでも感じるきっかけとなれば幸いです」と作品の思いを述べました。

表彰式後はビブリオバトルが行われました。好きな本を持ち寄って紹介しあう様子は活気にあふれ、本に対する思いが伝わりました。



### 11/29 (金) ウラシーンチュの心をいつまでも

南米移住者子弟研修生の修了式が市役所で開かれ、澤底カリナ・カツミさん（ブラジル）と宮城大城エミル・乃恵さん（ペルー）に修了証書が手渡されました。引き続き行われた送別会では、約4か月間の研修で学んだ琉球舞踊や三線などが披露され、エイサーでフィナーレを飾ると会場からは大きな拍手が送られました。

研修生のあいさつでは、学んだ日本語を使って、身元保証人や文化研修の先生たちなどお世話になった人たちへ感謝の言葉を述べました。思い出を振り返り涙する2人は、ウラシーンチュの心を胸に母国との懸け橋になることを誓いました。



### 11/28 (木) 第39回 全国障害者技能競技 大会(アビリンピック)入賞報告

障がい者ITサポートおきなわの又吉李美さん、宮城優香さんが市役所を訪れ、11月15日（金）から17日（日）に愛知県で開催された第39回全国障害者技能競技大会（アビリンピック）の結果を市長に報告しました。

この大会は、障がい者雇用の理解および促進、技術向上を目的として開催されていて、全23種目の技能競技に全国47都道府県から選手が集まり、日頃の技能を競い合い日本一を目指します。

DTP部門で銀賞を受賞した又吉さんは「難しい課題でしたが、受賞ができて嬉しい。来年は金賞を目指したい」と意気込み、今回初出場でワード・プロセッサ部門に挑戦した宮城さんは惜しくも入賞を逃したものの「来年の大会では入賞できるよう努力したい」と笑顔で話しました。



### 11/27 (水) これからは 私自身のための仕事探し

浦添市とハローワーク那覇は、シニア世代の就職を応援する取り組みとして「シニア応援お仕事フェア! 求人説明・面接会in浦添」を実施しました。

55歳以上の人を対象として、採用に意欲的な市内15事業所から97人分の求人が集まり、当日は60人以上の求職者が参加しました。興味のあるブースで説明を聞いたり、自分に合う仕事はどういったものがあるかなど、新たな仕事を見つけるきっかけとなったようでした。

参加者からは、「これなら自分でもできる」「得意分野の仕事を見つけることができた」など働くことに意欲的な声が寄せられ、シニア世代のこれまでの職業経験を生かした、今後の活躍に期待が高まりました。